

道路事業

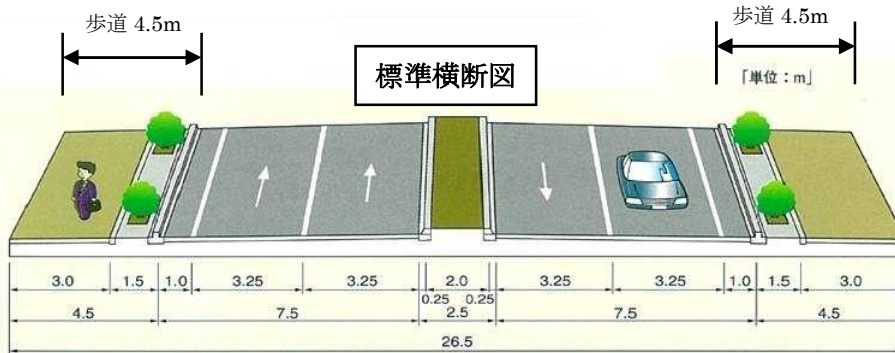
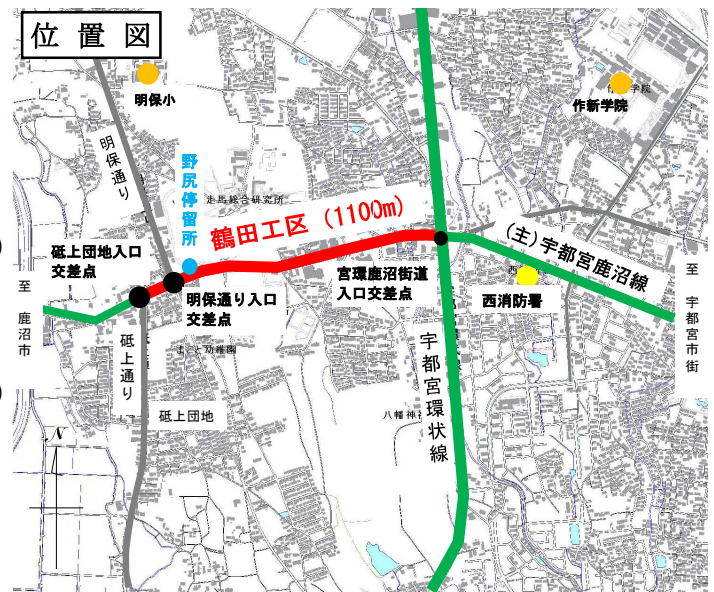
主要地方道宇都宮鹿沼線 鶴田工区 (平成20年11月供用)

1 事業概要

主要地方道宇都宮鹿沼線は、宇都宮市睦町から鹿沼市久保町に至る宇都宮市と鹿沼市を直結する重要な役割を担った幹線道路であります。また、宇都宮環状道路の放射道路として、経済社会活動を支える重要な交通基盤となっています。

鶴田工区は、宇都宮市鶴田から同市下荒針町までの1,100m区間において、現道拡幅整備を行うものです。

- ◆事業名：国庫補助道路改築事業
- ◆事業箇所：主要地方道宇都宮鹿沼線
鶴田工区
(宇都宮市鶴田～同市下荒針町)
- ◆事業主体：栃木県
- ◆全体延長：1,100m
- ◆幅員：26.5m ※標準部
(車道15.0m、歩道4.5m両側)
- ◆総事業費：約30億円
- ◆事業期間：平成11年度～平成20年度



2 事業の目的・必要性

鶴田工区では沿線の市街化により、自動車交通量が増大し、「明保通り入口交差点」及び「砥上団地入口交差点」を中心として、朝夕の通勤時間に慢性的な渋滞が発生し、日常生活に大きな影響を及ぼしていました。また、沿線周辺には、学校施設が多数立地し自転車通学者が多いにもかかわらず、歩道幅員が狭く、歩行者・自転車利用者が危険にさらされていました。

このため、栃木県では「安全で円滑な交通の確保」「宇都宮市・鹿沼市間の交流の促進」「救急医療活動の支援」「歩行者・自転車利用者の安全確保」を目的に、平成11年度より現道拡幅事業に着手し、平成20年11月に全線区間を供用しました。

3 事業の整備効果等

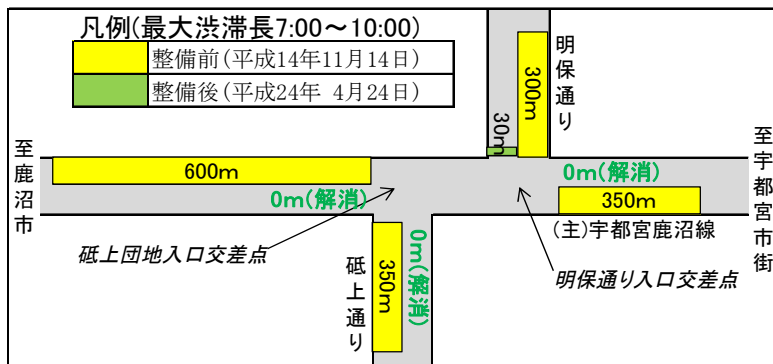
<費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化>

- ・事業費 着手前 約30億円 → 完成時 約30億円
- ・事業期間 着手前 平成11年度～平成18年度 → 完成時 平成11年度～平成20年度
事業期間延伸の理由：用地取得の遅延。

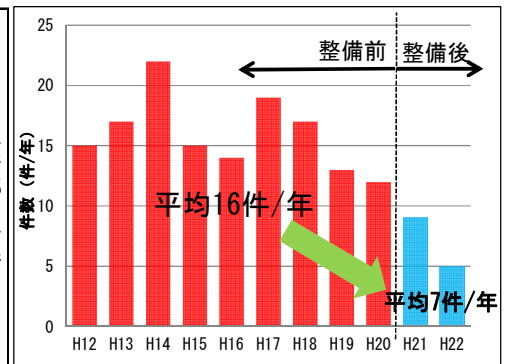
<安全で円滑な交通の確保>

4車線化・交差点改良により、主要渋滞ポイント2交差点の渋滞は解消しています。また、事故件数も減少しています。

■渋滞長の推移



■事故件数(死傷事故)の推移



整備前



整備後

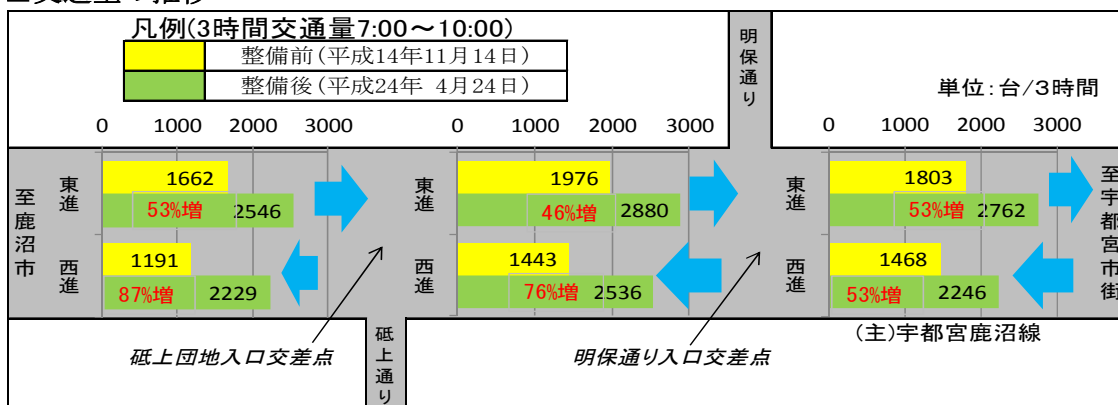


- 渋滞が解消し、事故件数も減少しています。
→安全で円滑な交通の確保が図られました。

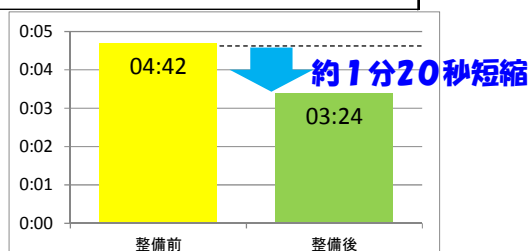
<宇都宮市・鹿沼市間の交流の促進、救急医療活動の支援>

鶴田工区を通過する自動車交通量は4車線化によって大きく増加しましたが、渋滞の解消などから所要時間は短縮され、都市間連絡道路としての機能を十分に発揮しています。

■交通量の推移



また、主要渋滞ポイントの解消と4車線化によって走行性が向上し、鷺谷病院前と宮環鹿沼街道入口間(約1.5km)のピーク時所要時間は約1分20秒短縮しました。



- 鹿沼市と宇都宮市を結ぶ幹線道路の交通容量が増加し、交通量が増加しています。→鹿沼市街地と宇都宮市のアクセス強化が図られました。
- 搬送時間が短縮され、救急医療活動の支援が図られました。

<歩行者・自転車利用者の安全確保>

バイパスの整備と併せて幅員W=4.5mの歩行者自転車道の整備をしたことより、歩行者や自転車利用の利便性や安全性が確保されました。

整備前



整備後



- 4.5mの歩道の整備により、歩行者・自転車利用者の安全確保が図られました。

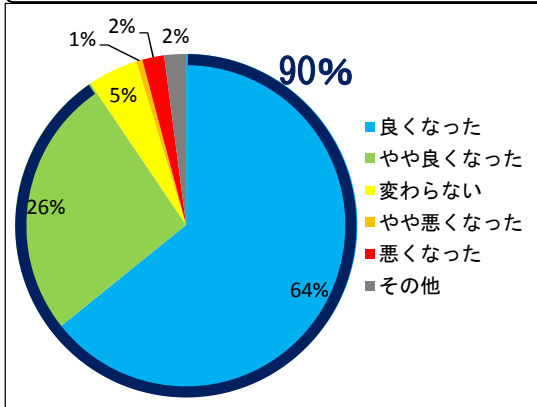
4 地元の声

主要地方道宇都宮鹿沼線鶴田工区の整備により、生活や環境などにどのような変化があったかを確認するために地域住民や企業、店舗などにアンケート調査を実施しました。

(回答数/配布数：486/628件 回答率 77% ※有効回答数は設問により異なります。)

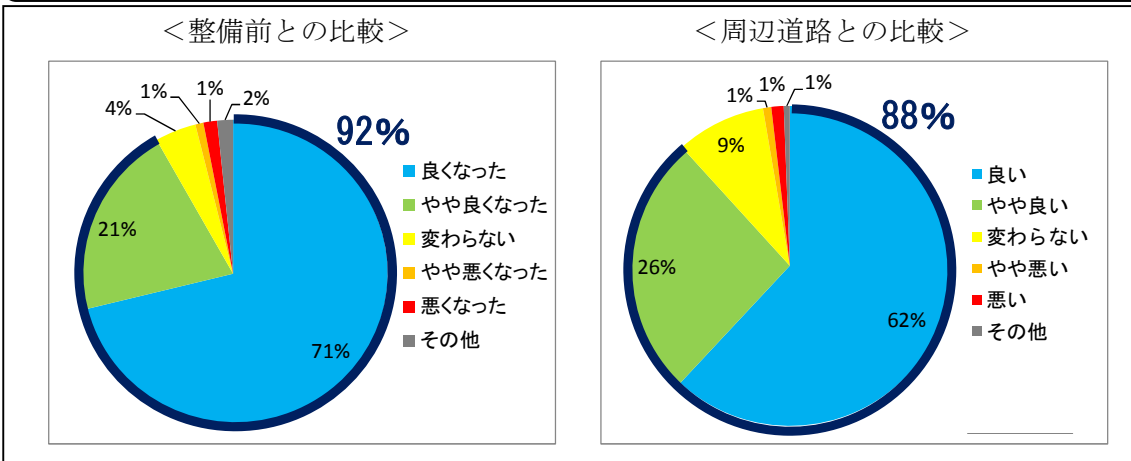
(1) 整備前(2車線の時)と比べた鶴田工区の混雑状況

約9割の人が、混雑が改善されたと感じています。



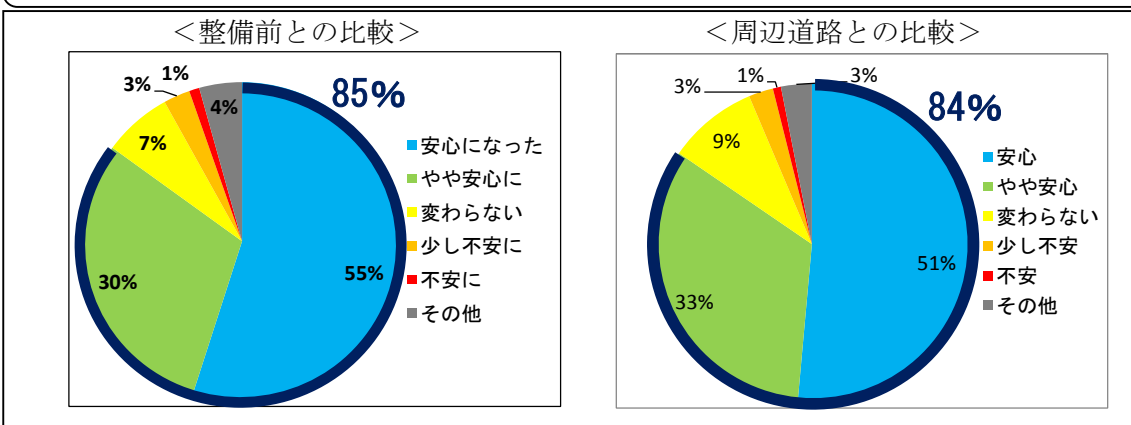
(2) 鶴田工区の走りやすさ・歩きやすさ

約9割の人が整備前と比べて走りやすくなった・歩きやすくなったと感じており、約9割の人が周辺道路と比べて走りやすい・歩きやすいと感じています。



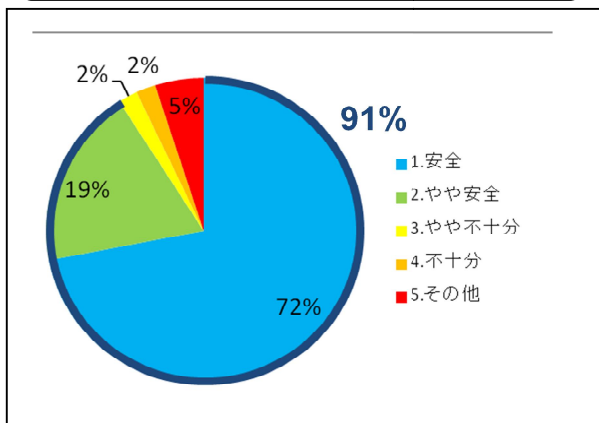
(3) 鶴田工区を通行する際の安心感

約9割の人が整備前と比較して安心になったと感じており、約8割の人が他の道路と比べて安心して通行できると感じています。



(4) 利用者の立場から見た歩行者の安全対策

約9割の人が歩行者の安全対策について適当であると感じています。



(5) 自由意見

- ・歩道が整備されたので、以前と比べてかなり安全になった。(30代 女性)
- ・自転車で外出するが、以前より安心・安全である。(60代以上 男性)
- ・整備後の道路敷地内の草刈りをしっかりして欲しい。(50代 男性)
- ・未整備区間の整備を推進して欲しい。(60代以上 男性)
- ・バス停留所のスペースを広く作って欲しい。(30代 女性)
- ・速度を上げて通過する車両が多くなり、不安を感じるようになった。(60代以上 男性)。

5 事業による環境変化

特になし

6 事業を巡る社会経済情勢の変化

・宇都宮鹿沼線の整備状況

平成 14 年 4 月	宇都宮市鶴田第 1 地区	745m 供用
平成 18 年 1 月	宇都宮市睦町工区	685m 供用
平成 20 年 11 月	宇都宮市鶴田工区	1,110m 供用
平成 21 年 3 月	鹿沼市上野町工区	813m 供用

7 今後の事業評価の必要性及び改善措置の必要性

交通量調査やアンケート調査結果により、事業の目的である「安全で円滑な交通の確保」「宇都宮市・鹿沼市間の交流の促進」「救急医療活動の支援」「歩行者・自転車利用者の安全確保」は図られています。このため、今後の事後評価及び改善措置の必要性はないと考えています。

8 同種事業への反映

本事業については、十分な効果を確認することができたとともに、アンケート調査では、更なる利便性向上の要望等、幅広い視点から多くの貴重なご意見等を頂きました。今後、現拡事業の計画策定や工事の実施、供用後の維持管理等に役立てて参ります。

栃木県では、今後も県民の皆様のご意見をお聞きしながら、より良い道路行政の推進に努めて参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

栃木県 県土整備部 道路整備課

T E L : 028-623-2411 F A X : 028-623-2417
H P : <http://www.pref.tochigi.lg.jp/h04/index.html>
E-mail : doro-seibi@pref.tochigi.lg.jp

